

NO.162

2011年11月30日

き た や ち

河北町立北谷地小学校

感動の北小文化祭

校長 八矢好幸



去る10月29日(土)に北小文化祭が行われ、それぞれの学年が趣向をこらして、合唱や劇、踊り、太鼓などを力の限り堂々と発表しました。

全ての発表が終わった後、地域や保護者の多くの方々から、「すばらしい感動的な文化祭でした。」「子どもたちの表現力の高さに驚きました。」「感動で涙が止まらなかった。」「子どもたちの力って本当にすばらしいものだね。」など沢山の感想をいただきました。

指導した私たちも本当にうれしく思っています。ありがとうございました。

では、この文化祭で何に感動し、どうして涙が出てきたのかを考えてみました。

一つ目は、子どもたち一人ひとりが気持ちを一つにして精一杯演技している姿に感動したのではないのでしょうか。腹の底からの歌声やせりふ、全身を使った踊り、一糸乱れぬ動き、どれもが真剣そのもので、成功させたいという思いを全力でぶつけている真摯な姿に胸が熱くなったのだと思います。「みんなが主役」の意味はここにあります。

二つ目は、子どもたち一人ひとりの成長が見えたからだと思います。六年生の劇の成功の陰には、一年生から五年生までの積み上げがあったのです。どの学年も年齢に応じた力を蓄えて、その力を発揮しているところに成長の姿を見ることができます。保護者や家族の中には幼い時のことをなつかしく思い浮かべながら、成長した姿に目を細め涙ぐんだ方もいたのかなと思っています。

三つ目は、観客と一体となったことです。お客様の前でしっかりした発表をしたい、拍手に応える演技をしたい、褒めてもらいたいという気持ちが、普段の練習よりもいいパフォーマンスにつながったことは間違いのないことです。心温まる感想と拍手、本当にありがとうございました。

そのほか、子どもたち自らの司会進行や幕間の出し物など、主体的な運営も子どもたちの大きな力となりました。

最後に、子どもたちを指導して一緒になって作り上げた先生方の力も忘れてはなりません。妥協することなく、厳しくそして優しく指導した結果の発表でした。全てが一体となったからこそ感動的な文化祭になったと思っています。子どもたちはまた一つ階段を上ってたくましくなりました。

子どもたちの頑張りの様子を地域に発信できたことをうれしく思うと同時に、いづらかでも地域の元気づくりに貢献できたのではないかと考えています。支えてくださった地域や保護者・家族の皆様に深く感謝申し上げます。



119周年 創立記念式 —歴史と伝統 再確認—



昔は土曜日も授業があった。
毎日のように6校時まで勉強した。
歩いて行って滑った
沢畑山でのスキー教室
引竜湖で芋煮会をした。

10月5日は北谷地小学校の創立記念日です。過日119周年を祝い創立記念式が行われました。歴史と伝統を誇る北谷地小学校ですが、本校の卒業生でもある校長先生より、昔の学校の様子を教えてくださいました。

また、児童を代表し今年度福島県から転入した6年の大場真子さんが、北谷地小学校のよさを発表してくれました。その発表を聞き、北谷地小学校のよさを改めて感じた式典となりました。



「みんなでつながり、協力して伸びていく強さ」を感じる北谷地小

— 前略 —

6年 大場 真子

わたしが初めて北谷地小学校に来たのは、校庭に雪が残る3月でした。その日、わたしは母と一緒に転入届を出しに来ました。そして、何日かたってから、学校に行く日が来ました。その日から、わたしは北谷地小学校のよさをいっぱい知りました。

一つは、学校がとてもきれいだということです。学校の中も外もゴミ一つ落ちていないことにわたしはすごくおどろきました。二つめは、クラスみんなが、何事もおそれずに挑戦するということです。自分ができないことでも、くじけないで何度もチャレンジするところがすごいなおもいました。

そして、わたしが学校に来ておどろいた場所は、音楽室とオープンスペースです。音楽室は天井も高いし、広いし、音がよく響いて、まるでホールのようなと思いました。オープンスペースはとびらがなくて、ついつい走り回りたくなってしまいう開放的な感じでした。

前の学校にはない行事もあります。ふれあいタイムと北小文化祭です。ふれあいタイムでは、班のみんなと協力して問題を解いたり、班のみんなとも他の学年ともふれあったりすることができる時間だと思いました。班長としては大変ですが、とっても楽しい時間です。北小文化祭も前の学校にはない行事の一つです。北小文化祭に向けて、12人の仲間たちと工夫しながら劇を創ってきました。先生におこられたりして、不安にもなったけれど、それを乗り越えて成長することができました。

今までの学校生活の中で、一番の思い出は運動会です。応援団をつくるということに、最初は

びっくりしました。なぜかという、前の学校では、個人的に応援するばかりで応援団を組織することがなかったからです。でも、応援歌もみんなで工夫したりする機会が増え、とても楽しかったです。

前の学校もよい学校でしたが、北谷地小学校にはちがう良さがあります。それは、みんなでつながりながら勉強できることです。一人一人乗り越えていく強さがあると思います。

今年で北谷地小学校は119才になります。北谷地小学校はとてもよい学校です。これからも、みんなでつながりながら、協力してよりよい学校にしていきたいと思います。北谷地小学校の創立記念日おめでとうございます。

貯筋通帳に筋肉貯筋をしよう！



11月は全校生で鉄棒に挑んでいます。一人一人貯筋通帳をもっていますので、各学級めあてをもって鉄棒運動を頑張っています。朝会で



校長先生による「前回り」の実技

ふれあい委員会が様々な鉄棒運動を紹介してくれました。

高度な技を見て、意欲もぐんと高まりました。早速、縦割り班ごとに練習しました。

足かけ上がり、足かけまわり

一心を育む読書月間 TVを消して本を読もう！

周りの木々の葉もすっかり落ち、秋の夜長となりました。夕方、暗くなるのも早くなり、家々の明かりも早い時間帯に灯るようになりました。こんな季節には読書が最適です。日常的についているテレビやラジオ、ゲーム音等を消して、静かな中で読書をしてみてはどうでしょうか。親子読書や縦割り毎に交換読書などの取り組みを行っています。

これからの予定	月/日 (曜)	11/30 (水)	12/ 5 (月)	6 (火)	8 (木)	12 (月)	14 (水)	19 (月)	19(月)~ 21(水)	22 (木)	12/23~ 1/9
	行事等	(NHK)	5年校外学習	オードブル給食 (5・6年)	来校 スクールカウンセラー	北小ギネス	子ども文庫 定例職員会議	(6年) 薬物乱用防止教室	リース・門松作り	個人面談	終業式

PTA講演会 11/17

「やればできる！母からもらった命と勇気」

命の学習塾 伊藤あさみ 氏 -天童在住-



学校に通えなかったから妹から字を教えてもらった

自分で箸を持って食べられるようになった時は、とっても嬉しくておいしかった。



針に糸を通し縫い物



子どものために編み物も覚えた

PTA主催の講演会で、今年度は天童市在住の伊藤あさみさんをお迎えし、講演をしていただきました。生まれつき両手が使えないハンディを乗り越えたくましく生きてこられた伊藤さんのお話は、大人の心にも子ども心にも大きな感動を与えました。

手が使えないので一人ではご飯が食べられなかった幼少期のこと。入学の時期になったにもかかわらず、入学が認められず学校に通えなかったこと。字は学校に入学した妹から教えてもらったこと。でも、九九や計算は大人になるまでできず、大人になってから研修所の方からみんなが寝ている間に教えてもらったことなど。伊藤さんの生い立ちを語っていただきました。伊藤さんの講演の中に、必ず、伊藤さんにずっと寄り添ってくださったお母さんが出てきます。現在102才、携帯電話もデジカメも使いこなすお母さんだそうですが、子の自立を願い、心を鬼にして厳しく、そして、できたときには背中をさすりながら子どもを心の底から優しく褒め育てた方でした。子の親あってこの子あり。伊藤あさみさんの強さと人間性に圧倒された90分でした。

伊藤あさみさんが作った洋服等

<子どもの感想>



健康って幸せなこと。何でもあきらめないで、できるまでやるとできるようになるんだね。

つらいことを乗り越え、いっぱい泣いてできるようになったなんて、すごい。

母からもらった命を大切にしたいと思った。勇気をだして何にでも挑戦したいと思った。